



きら 煌めく人 たち

「匠の技“洋裁”で光り輝く」

松本 弥生 さん (今釜新町・57歳)

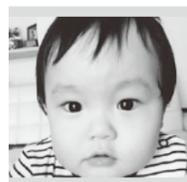
今釜新町に住む松本さんは、10月30日から3日間、茨城県で開かれた「第31回全国障害者技能競技大会」の洋裁部門で最高の金賞を受賞した。松本さんが出場した洋裁部門は、1枚の布地から指定されたデザインの婦人服ブラウスを、制限時間6時間で完成させるもの。出場は3回までと決められており、今回が3回目となる松本さんにとって、これが最後の出場となる。「昨年の失敗はアイロンのかけ過ぎで、素材をいかせなかったのが最大の原因」と去年の反省を踏まえて臨んだ大会

で「びっくりするくらい良いものができた」と、見事にラストチャンスをものにした。松本さんは2歳のときに小児まひになり、左足の自由がきかない状態が現在も残る。職業訓練校を卒業し、地元洋装店や縫製工場に勤務してきた。出場のきっかけは、同じ障がいを持つ人から紹介され、「目標を持って取り組めば必ず周りの人たちから認められる」との思いだった。また、大会に出たことで、ほかの障がい者との交流が深まったことが励みになり、連絡を取り合いながら技術の向上に努めた。

「障がいを抱っていても、何事も一歩踏み出す勇気が大事なんです」と。また、「みずからの体験を基に、ほかの障がい者も元気づけられたらいいと思っています」と松本さんは語る。

2年後に韓国で開かれる世界大会の日本代表候補に選ばれている。「夢は大きく持ち続けて、世界大会での金賞を目ざしてがんばりたい」と目を輝かせていた。

ハッピーバースデー 今月で1歳になります



川原 拓己 くん
亀場町亀川
父・鉄也さん
母・陽子さん

いっぱい食べて、元気モリモリ！すくすく・のびのび育ってね♪



佐藤 柚希 ちゃん
本渡町本戸馬場
父・恵美さん
母・紗世子さん

お兄ちゃんと仲良し!! ずっと仲良し!!



小林 小登音 ちゃん
亀場町亀川
父・大作さん
母・和美さん

絵本が大好き♡バイバイがじょうずなので、声かけてね!!



濱 真綾 ちゃん
新和町大宮地
父・政文さん
母・由美子さん

近所の皆様にかわいがられ、うちの社長はいつも元気いっぱいです☆



平山 舞 ちゃん
本渡町広瀬
父・篤さん
母・麻喜さん

兄ちゃんそっくりだけど、みんなに愛される女の子になってね♡



沖崎 莉央 ちゃん
牛深町
父・健一朗さん
母・京美さん

笑顔がかわいいおちゃんです♡由奈姉ちゃん大好きです♡



松本 向日葵 ちゃん
本渡町広瀬
父・裕晃さん
母・昌子さん

じいじ、ばあば、これからもおてんばな私をよろしくね♡



本人希望により
不掲載

絵本とおふろ大好き♡早く旅行や温泉巡りしたいなあ♡



太田 聖七 くん
佐伊津町
父・翔さん
母・枝里佳さん

兄ちゃんといっしょに遊ぶのが大好き♡仲良く元気に育ってね♡

1月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=12月10日(木)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく 歴史の証

「正光寺の公孫樹」(久玉町)

久玉町にある正光寺の境内に立つ公孫樹は、幹まわりが5m、樹高が約25mで樹齢は推定300年以上になります。しかし、樹勢はいまだに衰えることはなく、毎年美しい黄葉を見ることができます。

正光寺は、天正10年(1582年)に浄土真宗の寺院として開山し、この公孫樹は同寺のかたわらでその歴史を長きにわたり見守ってきました。そもそも公孫樹は、街路樹や神社・仏閣などでよく見られますが、観音像と

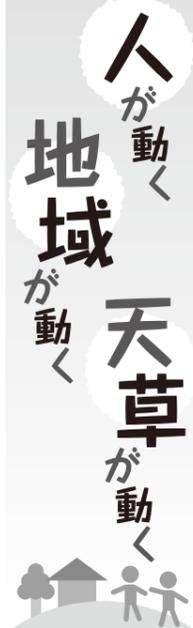
ともに日本に渡来したという伝説もあるほど、寺院にはゆかりの深い木です。これは、古来から公孫樹が火に強いとされ、火災の延焼を防ぐことを目的として植えられたほか、樹高が20~30mに達することから、防風の役割を果たすために植えられることもあったようです。明治29年(1896年)に、本堂が大火災に見舞われた際も、この公孫樹は難を逃れています。黄葉は、12月初旬が見ごろです。

皆さん、ぜひご覧ください。



▲力強くそびえ立つ公孫樹

地域が動く



自然の恩恵を受け地域の活性化に取り組み

大宮地区振興会(森 茂三(会長))

新和町の大宮地区には、自然豊かな清流、大宮地川が流れ、春はシロウオ、夏はウナギ、秋は川カニ、冬には青のりと、四季折々の恩恵を受けています。大宮地区振興会では「ふれあい豊かな大宮地」をスローガンにして、花いっぱい運動などの環境美化活動や特産品の開発、スポーツ事業や生涯学習活動などを、各部会を中心に実施しています。特に青少年育成事業として、毎年夏に「リバー祭ど大宮地」を開催。小・中学生を対象に、同川でのカヌーやローボート体験のほか、ウナギ捕り体験などを実施し、参加者と地区住民が一体となった事業として好評を得ています。

また、天草で一番大きな滝と言われている、神掛けの滝は、険しい山道の峠にあるためあまり内外に知られておらず、地区のシンボルとして整備を行う必要があると感じています。



▲ウナギ捕り体験の様子